

採点について

Ver1.10

第4回全日本インラインフィギュアスケート選手権大会対応版

著作 一般社団法人日本インラインフィギュアスケート協会

部外秘

For your eyes only

全体について

- エレメンツは全て 0~10 で評価され、得点は最高点 × 評価 ÷ 10 となる。
 - どのカテゴリーも、ジャンプ、 спин、スパイラル、ステップを含んでいます（各カテゴリー必須エレメンツ参照）。
 - 中学生以上では、ジャンプ 1 つ、スピントークを後半に入れなければならぬ。
(曲の長さに限らず 1 分以降が後半とする)
-

ジャンプについて

- **単体のジャンプ、2連続ジャンプ、3連続ジャンプの一つ目は異なるジャンプでなければならない**が、小学生以下はスリージャンプ、1サルコウ、1トゥループはいくつ重なっても良い（中学生以上で一つ目のジャンプが同じものだった場合、最初に行ったものは採点されるが、後から実行したものは無効となる）
 - 連続ジャンプでは、前向きに跳ぶジャンプは必ず一つ目に入れなければならぬ
(二つ目または三つ目に入った場合は得点には含まれない)
 - 連続ジャンプの二つ目または三つ目がループジャンプの場合は最大点が 1.2 倍になる
 - 回転不足とは回転数が $1/4$ 以上 $1/2$ 未満足りないことである
 - 回転数については、 $1/2$ 以上不足でダウングレード、 $1/2$ 未満 $1/4$ 以上でアンダー、 $1/4$ 以下が q とする。
 - 採点はジャンプ 1 つずつ採点します
 - **ジャンプはウィールで着した場合は LWW という減点で評価-2 となる**
-

スピントークについて

- スピントークはポジションセット後 2 回転で成立とします。
- 予定されている以外のスピントークはつなぎの姿勢とみなされ、加点減点もありません。
- かかとで回転するスピントークは得点には含みません
- スピントークはスピントーク 1 つずつ採点します
- バリエーションとはスピントークの回転中に姿勢を変更せずに形をかえることです

●中学生以上では単体のスピンと足換えスピンは異なる姿勢でなければならいない（小学生・マスターはアップライトまたはシットであれば同じものを2回実施しても良い）。

例 中学生以上では、単体のスピンがアップライトの場合、足換えはアップライト以外を選ばなければならない

●単体のスピンの場合、姿勢は変えられないがバリエーションは最大2つまでつけることができる。採点は一つずつ採点される。なお、同じバリエーションを2回使うことはできない。

例 シットフォワード・シットサイド（【VR】SSp）・シットビハインド（【VR】SSp）の場合
最大点 2.2 → 3.3 → 3.3

という最大点となり、一つずつ採点される。

●足換えスピンの場合、**最低1回足を換えなければならない**。最大で2回足を換えることができる。また、それぞれの足において、変化（バリエーション）1つだけつけることができる。

例1. 変化をつけず、足を2回換えた場合

シットスピニン→シットスピニン（【CF】SSp）→シットスピニン（【CF】SSp）

足換え 足換え

※ 最大点は 2.2+3.3+3.3 となります

●スピンコンビネーションの場合、**同一足でのスピン中に最低1回の姿勢変更をしなければならない（足換えと同時に姿勢を変更した場合は得点になるが、姿勢変更とはみなされない）**。片足につき姿勢変更・変化を合わせて最大3回まで実行できる。また、足換えはできるが最大1回となります。

例1. 足換えなしの場合

キャメルスピニン・シットスピニン（【CP】SSp）・シットバリエーション（【VR】SSp）

姿勢変更

最大点は 3.0+3.3+3.3 となります。

例2. 足換えを入れる場合

キャメルスピニン・シットスピニン（【CP】SSp）・シットバリエーション→シット（【VR】

SSp）・アップライト（【CP】USp）・足換えアップライト（【CF】USp）

姿勢変更

足換え

最大点は 3.0+3.3+3.3+2.25+2.25 となります

●姿勢及び変化は、アップライト（ストレート、フォワード、サイド、ビールマン、I字、Y字、クロス、トンプソン、等）、シット（フォワード、サイド、ビハインド等）、キャメル（キャメル、アップワード、サイド、フォワード）、レイバック（アップワード、サイド等）の4つとなります。なお、通常のスタンドスピニン（アップライト）、クロス、トンプソンはアップライトのバリエーションと判断することとする。

●足換えについて 足換えスピニンは左バックインから右バックアウト、もしくは右バック

アウトから左バックインに回転方向がそのままで足を換えることであり、一度フォアにな
った場合は減点となります。また、足を換える際、1回のみ蹴ることができます。

スパイラルについて

スパイラルは、スパイラル（単体）、スパイラルチェンジエッジ、スパイラルシークエンスのいずれかである（3秒で成立）

●スパイラルは3秒以上で成立となる

●スパイラルチェンジエッジの場合

二つのエッジがそれぞれ3秒以上で成立の場合、スパイラル2つ分の点数になります。
片方だけ3秒以上で、一方が3秒未満だった場合はそちらは非成立となり、3秒をこえた方のみ採点となります。

例. アラベスクスパイラルのチェンジエッジの場合

最大点は 1.8+1.8 となります

●スパイラルシークエンスの場合

スパイラルシークエンスの場合、2つの連続スパイラルとし、一つが終了後5秒以内に
二つ目をポジションセットしなければならない。また、同じスパイラルを足を逆にしたも
のや同じスパイラルをフォアからバック（またはバックからフォア）にしたものにはシーク
エンスと認められますが、全く同じものを2回行った場合はシークエンスとは認められま
せん。

例.

- 右軸フォアアラベスク → 右軸バックアラベスク
- 右軸フォアアラベスク → 左軸フォアアラベスク
- ✗ 右軸フォアアラベスク → 右軸フォアアラベスク

●フォアビールマンとバックY字は禁止ではないが非推奨である

ステップシークエンスについて

●ステップシークエンスとはターン、ステップ、スケーティングムーブメントを組み合 わせた一連の流れであり、6秒以上続けなければならない。

●難しいターンとはブラケット、ツイズル、ループ、ロッカー、カウンター、チョクトウ である

●採点については技術審査員、審査員が下記の項目で採点します。

技術審査員	審査員	
難しいターンが含まれる	10段階	エッジが深く明確なターン・ ステップ

身体の動き	10段階	音楽とのマッチ	10段階
		創造性・オリジナリティ	10段階

最大点一覧

●エレメンツ

ジャンプ	
スリージャンプ (3J or WJ)	0.7
1 サルコウ (1S)	1.3
1 トゥループ (1S)	1.3
1 インサイドトゥループ (1IT)	1.6
1 ループ (1Lo)	1.8
1 ループ (2つ目以降) (1CLo)	2.16
オイラー (1Eu)	1.8
1 フリップ (1F)	1.9
1 ルッツ (1Lz)	2.1
1 インサイドアクセル (1IA)	2.7
1 アクセル (1A)	3.6
2 サルコウ (2S)	4.0
2 トゥループ (2T)	4.5
2 インサイドトゥループ (2IT)	4.8
2 ループ (2Lo)	4.9
2 フリップ (2CLo)	5.1
2 ルッツ (2Lz)	5.8
2 インサイドアクセル (2IA)	6.8
2 アクセル (2A)	7.9
3 サルコウ (3S)	8.9
3 トゥループ (3T)	9.6

スピinn	
アップライト (USp)	1.5
レイバック (LSp)	2.6
キャメル (CSp)	3.0
シット (SSp)	2.2
バリエーションアップライト 【VR】 USp	2.25
バリエーションレイバック 【VR】 LSp	3.9
バリエーションキャメル 【VR】 CSp	4.5
バリエーションシット 【VR】 SSp	3.3
足換えアップライト 【CF】 USp	2.25

足換えレイバック 【CF】 LSp	3. 9
足換えキャメル 【CF】 CSp	4. 5
足換えシット 【CF】 SSp	3. 3
姿勢変更アップライト 【CP】 USp	2. 25
姿勢変更レイバック 【CP】 LSp	3. 9
姿勢変更キャメル 【CP】 CSp	4. 5
姿勢変更シット 【CP】 SSp	3. 3
フライングアップライト (FUSp)	3. 0
フライングレイバック (FLSp)	4. 6
フライングキャメル (FCSp)	6. 0
フライングシット (FSSp)	4. 4

スパイラル	
スプレッドイーグル (SE)	1. 5
イナバウアー (IB)	2. 0
ハイドロ (HB)	1. 5
アラベスク (AR)	1. 75
ケリガン (KR)	1. 75
Y字バランス (YB)	2. 0
ビールマン (BM)	2. 5
クロスグラブ (CG)	2. 1
キャッチフット (CF)	2. 0
ファン (FS)	2. 5
シャーロット (SH)	2. 5

ステップ	
ステップシークエンス (1S)	15. 0

●スケーティングスキル

バランス	5. 0
スピード	5. 0
多方面	5. 0

●パフォーマンス

体の動き・明確性	5. 0
表現・感情	5. 0
音楽とのマッチ	5. 0